

お知らせ

◆新たに「まちづくり組織」を設立しました。

市では、穂積駅周辺のにぎわいの創出を目指した取り組みの1つとして、ワイワイ会議を平成28年9月の第1回より現在までに約110回開催し、駅周辺の賑やかし活動や一方通行化の社会実験等、様々な活動を継続的に行ってきました。

これからも今まで以上に地域の皆様やまちづくりに関わる様々な方との連携・協力を図りながら、地域が主体となるまちづくりを推進していくため、新たに「まちづくり組織」を設立しました。ワイワイ会議の取り組みは、これまで培った経験を活かし、新しい組織へと移行します。



◆今までのワイワイ会議と何が違うの？

活動がしやすくなります！

ワイワイ会議では、皆様で自由に意見を出し合える場を大切にしてきました。これからは、自由に意見が出し合える場を残しながら、新たなリーダーを中心に、自分たちで話し合い、決定し、実行していける組織を目指します。

活動の幅を広げることができます！

これからは、駅周辺の自治会や市内の事業者さんとの活動の輪を広げていきたいと考えています。自治会等の地域間の垣根を超え、「やりたいこと」や「困っていること」に対して、色々な立場の人が関わり、皆様でつくるまちづくりを実現していけるような組織を目指します。

◆どんな活動をするの？

ほづみ夜市や駅南金曜日などの取り組みを継続しながら、様々なことに挑戦していきたいと考えています。



皆様のご参加をおまちしています！

◆今後のJR穂積駅周辺整備検討委員会について

令和2年度の検討委員会は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令等により、予定していた回数の開催ができませんでした。その為、令和3年度も引き続き、整備計画（原案）の作成に向けた検討を継続していきます。

委員の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

コラム まちづくりの目的と、実現に向けた手法について

穂積駅周辺のまちづくりの目的は？

まちづくりの目的は、

魅力的な穂積駅周辺の拠点づくり

今住んでいる皆様が安心、安全、便利に暮らせるまち

を実現することです。

どうやって実現するの？

まちづくりの目的を実現する為に、「土地区画整理事業」という手法を活用します。土地区画整理事業の目的は、

公共施設の整備（道路、水路、公園の築造等）

宅地の利用増進（換地により使いやすい土地に成形）

です。

穂積駅周辺まちづくり
news letter

～瑞穂市が提供する新しい駅周辺に関する情報発信～

No.

4

2021年5月発行



JR穂積駅圏域拠点化構想 【ビジョン】
みんなの心をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ

「穂積駅周辺まちづくり ニュースレター」は、駅周辺のまちづくりに関する検討の内容や進捗の状況をお届けしていきます。

第5回JR穂積駅周辺整備検討委員会を開催しました

第5回の検討委員会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、3月14日（土）に開催しました。

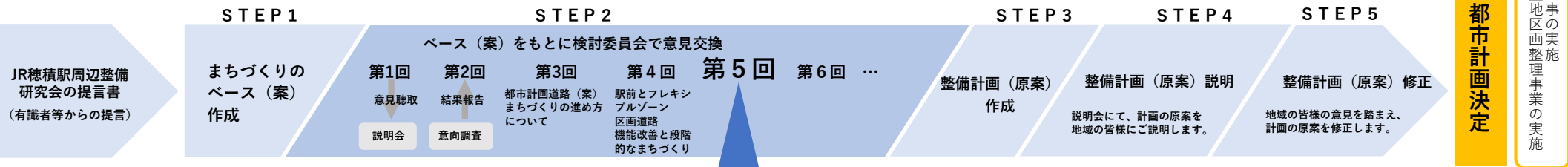
内容については、「駅前広場とフレキシブルゾーンの整備計画」、「区画道路の整備計画」「まちづくり組織の設立」の3点について、委員の皆様と意見交換を行いました。

検討委員会の
詳細は下記QR
コードからも
ご確認ください
ます



まちづくりのステップ

まちづくりの実現に向けて、令和4年度に駅周辺の主要道路や駅前広場、土地区画整理に関する都市計画決定を行うことを目標に検討を進めています。



都市計画決定
工事の実施
土地区画整理事業の実施

第5回 JR穂積駅周辺整備検討委員会

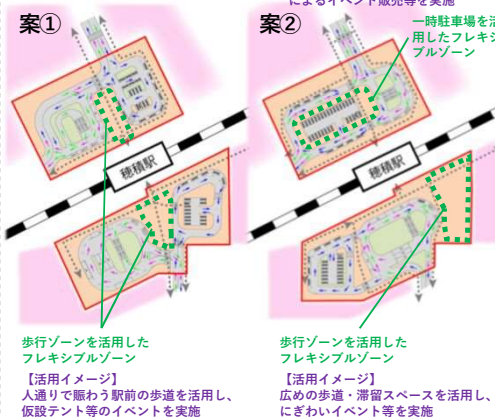
駅前広場とフレキシブルゾーンの整備計画について

【駅前広場の配置計画について】

配置計画にあたり、一般車の待機スペース、公共交通と一般車の分離、歩行者の動線、駅前広場の面積規模などを考慮して案を作成

【フレキシブルゾーンについて】

多様な用途に利用可能な、一定規模のまとまった空間として、普段とは別の使い方が出来る場所として案を作成



説明内容

意見交換の内容

- ・駅の近くに長時間駐車する駐車場は必要ないのではないか。
- ・歩道にアーケードの設置が必要。
- ・一般車と公共交通の交錯が出来る限り生じないよう安全性に配慮が必要。
- ・一時駐車場の適切な規模の検討が必要。
- ・一般車と公共交通が完全に分離されている方が良いのではないか。

区画道路の整備計画について

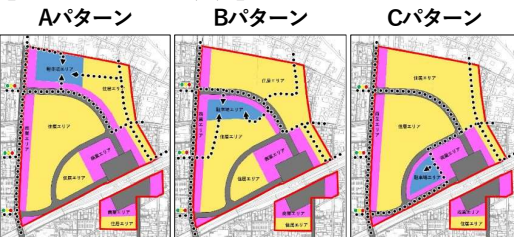
【区画道路の配置計画について】

・幹線道路や補助幹線道路といった主要な道路の機能を補完し、住民の利便性、安全性等に配慮した、よりきめ細やかなまちとなるよう配置の計画を行う。

【区画道路の考え方について】

- ・居住者の生活環境を守り、利便性や安全性を向上する。
- ・駅周辺整備による居住者の移転等の負担を軽減する。
- ・駅利用者と居住者の車両の混在を解消する。
- ・新たなまちなみを形成し、地域全体の付加価値を向上する。

【土地利用の考え方(例)】



これら土地利用の考え方、土地利用に伴う歩行者導線、地区外との交通ネットワーク等を総合的に勘案し、区画道路の整備計画検討を進める。

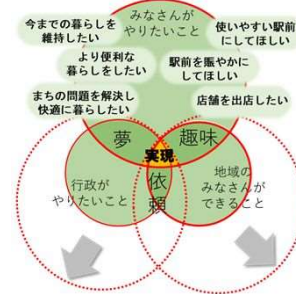
- ・駅周辺には、一人暮らしの方や様々な世代の方が住んでいる。皆様が住みやすいまちにするには、狭い道路の解消などの地域課題の解決と、駅を中心としたコンパクトなまちづくりが必要。
- ・駅周辺の契約駐車場を利用している人のことを考えると、駅からあまり離れたところには駐車場を集約しない方が良いのではないか。

まちづくり組織の設立について

【地域の皆様でまちを維持していくことの必要性について】



・まちの基盤や制度を活用する地域の皆様次第で、様々なまちづくりの可能性が広がる。



- ・皆様がやりたいことを実現していくためには、「やりたいこと」、「できること」、「行政がやりたいこと」の関係性をバランスよく構築していくことが重要

今できるまちづくりの関係性の構築

ワイワイ会議を中心に、駅周辺の自治会の皆様や商業者の皆様と協力し、新しいまちづくり組織を設立

- ・昨今の自治会を取り巻く状況は、高齢化や若い人の減少、コロナ禍による地域との連携のしにくさ等があり、大変苦慮している。このような状況が少しでも改善されるような取り組みの検討が必要。
- ・穂積駅は乗降客数が多く、市の財産である。地域の人と駅利用者に向けた更なる賑わいづくりが必要。
- ・若い人を活動の中に取り込んでいく工夫が必要。

まとめ

駅前広場とフレキシブルゾーンの整備計画について

- ・駅前広場の利便性や広域的なまちとのつながりを踏まえ、広場内の施設や機能など、穂積駅周辺に相応しい駅前広場の在り方を検討する。
- ・広場内の人の動きや車の動きを明確にし、より安全性が高められるような計画を検討する。

区画道路の整備計画について

- ・利便性の高い土地利用や、狭い道路の解消など、地域の皆様が安全で暮らしやすいまちの構築に向けた計画を検討する。
- ・社会情勢や駅周辺居住者の現状を踏まえ、より早期に効果が発現されるよう、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを検討する。

まちづくり組織について

- ・地域の生の声を参考に、まちづくり組織の具体的な計画策定や令和3年度からの組織運営を図る。

検討委員会の意見を踏まえ、市では整備計画(原案)の作成に向けて検討を進めます。



第5回 JR穂積駅周辺整備検討委員会